

荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県産の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

*外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物



たねの受け取り しなのめキッズパーク保育園

3月9日(金)、平成28年度から本プロジェクトに参加しているしなのめキッズパーク保育園を訪問し、荒川の草花のユウガギクのたねを受け取りました。この園では、園庭にあるビオトープで荒川の草花を育て、園児が秋にたねを収穫しています。今年もたくさんのたねを収穫してくれました。



園児からは「たいせつにつかってください。」と言葉がありました。このたねは三ツ又沼ビオトープで外来植物を抜いた場所にまくなど荒川の自然を守るために役立てる予定です。

1年間の自然を守る活動のふりかえり 埼玉県立いずみ高等学校

3月14日(水)、三ツ又沼ビオトープを題材にした一年間の学習の総括発表会が行われました。前半は、自然を守る活動の意義についての振り返りと荒川の草花の発芽促進実験や外来植物抑制実験の経過の発表が行われました。今回の発表も含め高校生が取り組んでいる実験の成果の蓄積が、本プロジェクトを支えています。



後半は、グループに分かれ、三ツ又沼ビオトープの自然を守る活動に関心をもってもらう方法を考えるワークショップを行いました。ワークショップを通して、「外来種を駆除するだけでなく、BBQなどの食に関連したイベントを企画し外来種を活用してはどうか」というアイデアや、「知識が身につくなど何らかの見返りがあると参加者が増えるのではないか」など様々な意見がでてきました。

たねのお渡し 上尾市立平方北小学校、上尾市立富士見小学校、川島町立つばさ南小学校

今年度、本プロジェクトで荒川の自然を守るために荒川の草花を育てていただく3校の小学校でたねの授与式を行いました。

4月24日(火)上尾市立平方北小学校、5月1日(火)上尾市立富士見小学校、14日(月)川島町立つばさ南小学校で、荒川の草花のたねをお渡しする式典を、全校児童を対象とした朝の集会でを行いました。式典では、荒川上流河川事務所の副所長が、メハジキ、ユウガギクなど5種類の荒川の草花のたねを、各学校の児童代表へ手渡しました。また、あらかわ市民環境サポーター事務局から全校児童へ三ツ又沼ビオトープの自然や本プロジェクトについての説明を行いました。それぞれの学校で地域の自然を守るために1つでも多くの元気な草花を育て増やして欲しいと思います。



平方北小学校



富士見小学校



つばさ南小学校

いろいろな方が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

早春の自然の中で元気に活動

ボーイスカウト上尾 4 団・9 団

3月18日(日)、ボーイスカウト上尾4団、上尾9団が早春の三ツ又沼ビオトープで自然を守る活動を行いました。内容は、希少植物のノウルシが好む明るい空間を確保するために、市民ボランティアが伐ったヤナギを運びやすいように玉切りにする活動を行いました。また、ヨシ原で湿地の植物であるエキサイゼリの芽生えなどを観察しました。ボーイスカウトのみなさんは、市民ボランティアの指導のもと、とても熱心に活動に取り組んでいました。



新人研修で自然を守る活動を体験

武蔵野銀行、ファインモーターズスクール

三ツ又沼ビオトープで2社の企業の新人研修が行われました。

4月11日(水)、16日(月)に武蔵野銀行の新人行員が、



武蔵野銀行

17日(火)にファインモーターズスクール(自動車教習所)の新社員が、外来植物の抜き取りや竹林整備など自然を守る活動を体験しました。

活動の最後には、銀行

員、または、自動車教習所の社員として、研修のメニューに自然を守る活動が組み込まれた理由について考えてもらいました。



ファインモーターズスクール

自然を守る活動の大変さを実感

大正大学人間学部人間環境学科 環境政策コース

4月23日(月)、環境政策コースの学生と教員計43名が、「自然環境の保全や再生の大変さを体感する」というテーマのもと、三ツ又沼ビオトープで野外実習を行いました。学生は、三ツ又沼脇のヨシ原で、一面に広がるオオブタクサなどの外来植物を時間いっぱい抜き取りました。

最後に円陣を組んで、体験した自然を守る活動の振り返りと保全管理について意見交換を行いました。三ツ又沼ビオトープの保全管理に長年たずさわっているあらかわ市民環境サポーターから、「小さい頃から慣れ親しんだこの場所を次の世代に手渡したい」など保全管理に取り組む想いを伺いました。



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集！】

自然を守る活動や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています！